

医療法人社団 持木会 柳田温泉病院の環境行動計画

平成23年6月28日

■ 取組方針

環境基本理念

医療法人社団 持木会 柳田温泉病院は、地域密着型の病院として、内科、外科、整形外科の診療を行っていますが、環境保全に取り組むことが地域社会を構成する企業市民としての責務であることを認識し、住みよい社会と豊かな自然を将来世代に伝えることに貢献します。

環境行動指針

私たちは、当病院の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組みます。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の削減・節水）
- ② 事業活動中での一般廃棄物、産業廃棄物の排出量削減
- ③ 産業廃棄物等危険物の安全な取り扱い
- ④ 資源のリサイクルの推進

この方針にそって、全ての従業員が高い環境意識をもち、環境に配慮した行動ができるように、環境教育を実施します。また、地域での環境保全活動に積極的に参加できるように、病院内の制度を整備します。

平成23年 6月28日

医療法人社団 持木会
理事長 持木 大

■ 環境負荷低減の取組

当病院では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標—1</p>	<p>二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、平成22年を基準として平成24年までに3%減の802（kg-CO₂/百万円）に削減する。</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（基本的な取組の考え方） 病院という事業の性格から衛生面での悪影響が出ないように、見える化機器により低炭素化効果の高い取組を把握しながらPDCAを回して実施する。</p> <p>（病棟部門における取組）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 空調の運転時間、特に夜間と中間期の稼働を抑制する。 ② 給湯設備や浴槽設備の湯量削減を図る。 ③ 消灯時間の徹底により照明電力の削減を図る。 <p>（外来部門、デイケア部門における取組）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 冷暖房時の外気侵入を防止するためドア開け放し等を防ぐ。 ② 受付時間以外の消灯を徹底する。 ③ 不用時間の自販機内照明消灯やタイマーによる負荷低減を図る。 ④ 男女浴槽での湯使用量の削減を図る。 <p>（診療部門における取組）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 医療機器の種別に応じた節電方法を検討する。 ② 夜間に電源を切れる機器などの消し忘れを防止する。 ③ 診療のための空気環境に注意しつつ室内空調の負荷削減を図る。 ④ 滅菌用蒸気や洗浄用の給湯の使用量削減を図る。 <p>（厨房における取組）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 加熱・調理用のガス及び湯消費量の低減を図る。 ② 厨房内空調の負荷低減を図る。 ③ 食材保管用冷凍・冷蔵庫の熱交換部の清掃等により節電を図る。 ④ 食器を適正な密度で並べ、食器洗浄器の使用湯量削減を図る。 <p>（送迎車利用における取組）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アイドリングストップを実施する。 ② 速度、急発車、急停車に気配りし安全エコドライブを推進する。

目標一2	水使用量(売上高当たり)を、平成22年を基準として平成24年までに2%減の13.7 (m ³ /百万円)に削減する。
具体的な取組	<p>(基本的な取組の考え方)</p> <p>病院という事業の性格から衛生面での悪影響が出ないよう、見える化機器により節水効果の高い取組を把握しながらPDCAを回して実施する。</p> <p>(病棟部門における取組)</p> <p>① 給水、給湯設備や浴槽設備の湯量削減を図る。</p> <p>(外来部門、デイケア部門における取組)</p> <p>① 男女浴槽での水使用量、湯使用量の削減を図る。</p> <p>(診療部門における取組)</p> <p>① 滅菌用蒸気や洗浄用の給湯等の水使用量削減を図る。</p> <p>(厨房における取組)</p> <p>① 調理用の水、湯消費量の低減を図る。</p> <p>② 食器を適正な密度で並べ、食器洗浄器の使用水量削減を図る。</p>

目標一3	廃棄物の排出量(売上高当たり)を、平成22年を基準として平成24年までに2%減の8.9 (kg/百万円)に削減する。
具体的な取組	<p>(事務等の一般廃棄物での取組)</p> <p>① 廃棄物は、決められたごみ箱に分別して出す。</p> <p>② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。</p> <p>③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。</p> <p>④ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。</p> <p>(病院内消耗品等搬入に関する取組)</p> <p>① 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する。</p> <p>② 使用済みの段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する。</p> <p>(産業廃棄物等に関する取組)</p> <p>① 感染性廃棄物を適切に管理する。 廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアルを遵守する。</p> <p>② 適正な分別を図る。 一般廃棄物への混入を防止する。(環境リスク拡大の防止)</p>

目標-4	コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、平成22年を基準として平成24年までに2%減の384（g/百万円）に削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する。 ② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める。 ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する。 ④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する。

目標-5	環境に配慮したOA機器・事務用品等の使用・普及、また病院利用者や地域社会との環境保全活動を推進する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① OA機器・事務用品・制服などはグリーン製品選択を推進する。 ② 地域社会の環境保全活動への参加を推進する。 ③ 病院内での節水など利用者への環境保全行動の呼びかけを行う。

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、経理センター長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。